

シンボルロードの活用ニーズを踏まえた整備・活用の考え方（案）

	日常利用	定期的なイベント利用	彩夏祭
朝霞市基地跡地公園 ・シンボルロード 整備基本計画 (平成 22 年 3 月)	○現在の樹林を活かした、 林の中の小道 (コミチ) ○公園通りの喧騒に対する緩衝帯	—	—
朝霞市基地跡地 利用計画書 (平成 27 年 12 月)	○通行 (歩行者、自転車道) ○健康・軽運動 (ジョギング、ウォーキング、 散策 、ヨガ等) ○休息 (休憩 、 歓談 、 飲食 、読書等) ○動植物の鑑賞・観察、学習会、課外授業 ○ 樹林・植栽の維持管理活動	○ ストリートライブ 、大道芸などの パフォーマンス ○ フリーマーケット ○ガーデニングショー ○フラワーカーペット	○ 観覧席
専門部会 委員ヒアリング	○ 滞留 (休憩、会話など) ○自転車による通行 ○徒歩移動 (通行) ○ 森の中の散策 ○子どもが何かを発見できる場	○飲食を伴うゆったりとした 大人の音楽イベント 、 ジャズライブ ○ アートマルシェ ○ 日曜日 ○ 園芸市 ○市民や各団体の活動、市民文化の体験 ○「街に出よう！」という気持ちが 高まる企画・空間	○ よさこい有料観覧席 ○ よさこい出場団体の待機場所
関係機関等 ヒアリング	○自転車通行帯 ○歩道 ○ 林の中のコミチ、ウッドチップの小道 ○ 飲食・休憩 ○ ベンチに座ってコミュニケーションが生まれる場所 ○ ワゴン車 (キッチンカー) 販売 ○ストリートバスケット ○ ボランティアの清掃活動 ○レンタサイクル	○ ジャズイベント (駅前イベントの拡大) ○ ミニコンサート、ストリートライブ ○ アートマルシェ (駅前イベントの拡大) ○農業祭 (既存のイベントの拡大) ○おしゃれな 軽トラ市 ○ キッチンカーを使った屋台村 ○土日限定のチャレンジショップ ○商店街から募ったイベント ○B 級グルメ、アート等の特徴のあるイベント ○イルミネーション ○オリンピックの パブリックビューイング	○ よさこい出場団体の受付・待機所・給水所 ○ よさこい観覧スペース ○ 踊りの空間 (ステージが設置可能な広場) ○出展ブース用スペース ○飲食・休憩スペース ○仮設トイレ・喫煙所・リサイクルステーション (郵便局前)

活用ニーズを踏まえた整備・活用の考え方

① 日常利用

- ・自転車、歩行者通行帯の確保
- ・現在の樹林を活かした散策路の整備
- ・コミュニケーションが生まれる滞留空間の創出
- ・市民参加による緑の管理

② 定期的なイベント利用

- ・ストリートライブ、アート等の舞台の創出
- ・様々な「市」を開催できる空間の確保
- ・市民のアイデアで活用できる空間と仕組みづくり

③ 彩夏祭における利用

- ・よさこいの観覧席を設ける空間の確保
- ・出場団体の待機場所となる空間の確保
- ・出展ブースや休憩スペースとして利用できる空間の確保

(凡例) ■：散策利用 ■：休憩・コミュニケーション ■：市民参加の維持管理活動 ■：飲食関連の利用
■：音楽・アート系イベント ■：物販系イベント ■：よさこい関連の利用